

10月の教育活動より ～世界とつながっています～

サンホセ日本人学校 校長 川上 隆

コスタリカ国内のコロナウイルス感染者数は、一時、一日2,000人を超える勢いでしたが、最近では1,000人以下の日が多くなりました。とはいえ、まだまだ厳しい状況が続いております。みなさまにおかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、本校は2年前より文部科学省の指定を受け、遠隔授業の研究を進めています。今年度が3年目の最終年度です。共同研究校のアグアスカリエンテス日本人学校（メキシコ）とは、全学年が動画を通して、または直接の合同授業で継続して関わっています。その他にも以下の取組を通して、世界中とつながっています。

<p>日本からのゲストティーチャー</p> <p>中学部のティコタイムのテーマは、「キャリア」についてです。生徒たちは、様々な仕事の専門家の方々と直接関わらせていただくことで、将来について考えています。</p>	<p>東京都式根島（しきねじま）の小学校との交流</p> <p>小学部の3・4年生、6年生が主に関わっています。縁があり、（時差の関係上）動画を通してそれぞれの紹介をしたり、質問をしたりしてつながっています。</p>	<p>世界合同授業（中国の蘇州日本人学校より）</p> <p>小学部6年生のティコタイムのテーマは、「SDGs」についてです。世界中の日本人学校の児童生徒たちと動画を通して意見の交流（間接交流）をしていきます。</p>	<p>サンパウロ日本人学校、リオデジャネイロ日本人学校の発表</p> <p>この2校の中学部の交流について、紹介していただきました。他の日本人学校の取組から、学ぶことがたくさんあり、とても参考になりました。</p>
---	--	---	---

この他にも、隣国のパナマ日本人学校とも毎年、遠隔による交流学习を続けています。遠隔授業の利点は、1) 間接交流（時差や進度の違いによるための録画共有）や直接交流が自在に組める。2) 本校のような少人数学級が、他校の同学年多数と学習できる。3) 他校異学年との学習もでき、様々な考えに触れることができる。4) 国境を越えて様々な分野の専門家（ゲストティーチャー）に学ぶことができる等、これまで考えられなかった資源の有効活用ができ、子どもたちの学びがより広がり深まることです。今までなかなかできなかった取組が、どれだけ離れていても時差がクリアできれば手軽に実現できるのが遠隔授業の最大の魅力でもあります。これらのことから本校は、対面授業の中に遠隔授業の利点をうまく取り入れていく併用型（ハイブリッド授業）の活用を通して、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指したいと考えています。



11月の予定

- 11月 1日（月） 集金
- 5日（金） 委員会活動
- 11日（木） 避難訓練
- 12日（金） クラブ活動
- 15日（月）～16日（火）
学カテスト（小4～中2）
- 19日（金） スポーツフェスティバル
- 29日（月） 軍隊廃止の日（振替）のため休日

連絡

- 先日、「入国時のお願い」につきましてご連絡させていただきました。ご協力お願いいたします。
- 本日、「スポーツフェスティバル」のご案内を配布しました。是非、保護者の皆様も体調を整えてご参加ください。



